



## サステイナブルキャンパス国際シンポジウム 2016 の開催について（お知らせ）

**開催趣旨：**サステナビリティ・ウィークの一環として行われるサステイナブルキャンパス国際シンポジウムは 2011 年から始まり、今回で 6 回目を迎えます。昨年は、「持続可能な社会実現のためのチーム・ビルディングー世界の課題に取り組む大学の新たな組織づくりとサステナビリティ・オフィスの役割」をテーマに、実社会の課題を解決しようとするサステナビリティ学の教育プログラムに取り組む大学が、専門分野の異なる教員の知識、学生のアイデア、社会のニーズを統合させ、社会に開かれた場へと進化させていく際に必要となる、大学全体を巻き込み動かしていくチーム・ビルディングの方法、サステナビリティ・オフィスの役割、トップコミットメントとボトムアップの双方向の戦略について議論し、チーム・ビルディングに不可欠な「サステナビリティの概念について共通理解を求め続ける」ことの重要性が再認識されました。

今年のシンポジウムでは、サステナビリティの概念について共通理解を深める方策として、キャンパスの機能及び物理的空間形成を計画するキャンパスマスタープランに焦点を当て、サステナビリティの概念をキャンパスマスタープランへ取り込む過程とサステイナブルキャンパス実現への道程を議論します。

ミラノ工科大学助教 Eugenio Morello による基調講演ののち、日本建築学会都市計画委員会大学・地域デザイン小委員会の協力により、先進的なキャンパスマスタープランをまとめた国内 3 大学の事例を紹介し、実際にサステナビリティの概念をキャンパスマスタープランへ取り込む過程をワークショップ形式で検証します。

**日程：**平成 28 年 11 月 1 日（火）10:00～14:30（受付 9:30） 基調講演（一般公開）

14:45～17:30 ワークショップ・グループワーク 1

18:00～20:00 意見交換会（一般公開・要申込）

11 月 2 日（水） 9:00～16:00 ワークショップ・グループワーク 2

**場所：**北海道大学学術交流会館 小講堂（札幌市北区北 8 西 5）（公共交通機関をご利用ください。）

**主催：**北海道大学サステイナブルキャンパス推進本部、施設部

**参加費：**無料

**言語：**日本語・英語（逐次通訳あり）

**プログラム：**持続可能な大学と地域の発展のためのキャンパスの役割

ーサステナビリティの概念を取り込んだキャンパスマスタープランとは

(1) 開会挨拶

11 月 1 日（火）

10:00～10:05 北海道大学理事・副学長 三上 隆

(2) 来賓挨拶

10:05~10:15 文部科学省大臣官房文教施設企画部整備計画室 室長 富田 大志

(3) 趣旨説明

10:15~10:20 北海道大学総長 山口 佳三からのビデオメッセージ  
「キャンパスマスタープランについて議論して欲しいこと」

10:20~10:35 北海道大学大学院工学研究院 准教授 小篠 隆生

(4) 基調講演

10:35~11:50 ミラノ工科大学助教 ユージニオ モレロ

11:50~12:00 オリエンテーション

12:00~13:00 休憩

13:00~13:30 九州大学キャンパス計画室 准教授 鶴崎 直樹

13:30~14:00 名古屋大学工学部施設計画推進室 准教授 恒川 和久

14:00~14:30 大阪大学キャンパスデザイン室 准教授 吉岡 聡司

(5) ワークショップ

ファシリテーター：小篠准教授，鶴崎准教授，恒川准教授，吉岡准教授

14:45~17:30 グループワーク 1

(6) レセプション

18:00~20:00 ファカルティハウス「エンレイソウ」 レストラン「エルム」(参加費 4500 円)

(7) ワークショップ

11月2日(水)

9:00~13:45 グループワーク 2

(8) 14:00~15:55 発表，講評，まとめ

(9) 閉会挨拶

15:55~16:00 北海道大学施設部長 佐々木 力

**申し込み期間・方法：**

以下のホームページから，10月28日(金)までにお申し込みください。

<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/2016/jp/sc/>

**基調講演者経歴**

○Dr. Eugenio Morello (ユージニオ モレロ博士)

ミラノ工科大学 助教

International Sustainable Campus Network (ISCN) の Working Group 2 “Campus-wide Planning and Target Setting” の共同議長を務め，Laboratorio di Simulazione Urbana Fausto Curti, DASTU の博士研究員でもある。都市環境と都市形態，特に，持続可能な地域計画における環境的側面とエネルギーシステムを統合する，デジタル・シミュレーション及び予測モデルを研究。2006年にミラノ工科大学で博士号(環境デザイン及び建築技術)を取得し，ロベルト・ロッカ教育プログラムの博士号特別研究員として，ミラノ工科大学有人宇宙実験室(2009年)及びMITのSENSEable City Lab(2008年)で研究。2006年よりミラノ工科大学非常勤教授(都市計画)を務め，2010年より現職。

○鶴崎 直樹 准教授

九州大学大学院人間環境学研究院准教授・キャンパス計画室(兼任) 博士(人間環境学)

技術士(建設部門 都市及び地方計画), 一級建築士。大学卒業後, 株式会社計画・環境建築(YAS 都市研究所), 九州大学工学部助手等を経て現職。専門は建築設計, 都市デザイン, キャンパス計画。九州大学の統合移転事業に携わりキャンパスマスタープラン, パブリックスペース・デザインマニュアル等の策定に関与。主な著書として「キャンパスマネジメントハンドブック」(2004, 丸善, 共著), 「地域と大学の共創まちづくり」(2008, 学芸出版社, 共著), 「いまからのキャンパスづくり」(2011, 日本建築学会, 共著)などがある。

○恒川 和久 准教授

名古屋大学工学部施設計画推進室

大手建設会社設計部勤務を経て, 2012年に名古屋大学大学院工学研究科・施設整備推進室准教授に就任。専門は, 建築計画, 建築設計, 都市・地域計画, ファシリティマネジメント。2015年名古屋大学におけるファシリティマネジメント等の業績により, 日本建築会賞(業績)を受賞。他に, 日本ファシリティマネジメント大賞功績賞, 名古屋市都市景観賞, 愛知まちなみ建築賞等を受賞している。現在は, 名古屋市, 西尾市など多くの自治体の公共施設マネジメントにも携わる。

○吉岡 聡司 准教授

大阪大学キャンパスデザイン室

大阪大学工学部建築工学科(修士)を終了後, 大手総合設計事務所にて企画設計部に勤務し, 主に公共施設の新築・改修について計画, 設計を担当。2001年に個人設計事務所を設立。2008年より大阪大学大学院工学研究科助教授。キャンパスデザイン室においてキャンパスマスタープランの運用, 改訂, 設計監修に携わる。キャンパス計画とマネジメント, 大学の地域連携とキャンパス計画との関係性, 地域コンテキストを継承する建築・都市デザイン, 肢体不自由児施設計画・バリアフリー計画等を研究し, 2012年より現職。

**お問い合わせ先**

北海道大学サステイナブルキャンパス推進本部

TEL : 011-706-3660/3661      FAX : 011-706-4884      E-mail : osc@osc.hokudai.ac.jp